

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	松本市		代表者名	臥雲 義尚	
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進本部	連絡先電話番号	0263-48-7000
担当者役職	情報政策幹(EDO補佐官)	担当者氏名	高橋 浩道	連絡先E-mail	
住所	390-8620 長野県松本市丸の内3番7号				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	DXを担う職員の人材育成
概要	「市民にデジタルの恩恵が届く市役所」を実現するため、常に業務改善を目指すマインドセットを職員に定着させる。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 行政手続オンライン化		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	133K	令和6年12月24日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月18日	支援・助言&講演(実地)	14時00分	16時00分	
				活動時間(分)	120
2-2.	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
派遣場所	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体業務及びデジタル庁での業務の経験から、本市で課題となっているいくつかの点に関して講演、助言をいただいたことは大変有意義であった。また、参加者から高い評価を受けており、標準化や庁舎改築に向けて、庁内で職員が「ゲームチェンジャー化」するきっかけとなったことは明らか。今後この熱を冷ますことなく業務のデジタル化を進める仕組み作りを進めていく。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	25人	
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	25		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	本市は、令和3年に「DX骨太の方針」を定め、各種デジタル施策を推進してきた。現在、業務システム標準化に取り組んでいるが、併せて新庁舎建設に伴う庁舎の分散配置が計画されており「市民に身近な市役所づくり」を進めるため、業務の見直し、改善が待ったなしの状況です。しかしながら、職員の業務改善に対する志向は弱く、課題解消検討に入れていない。「課題を課題として認識する力」「デジタルを活用する意識」を身に着ける必要がある。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	1 職員が担当する業務の改善を進める思考を持つ。 2 職員がデジタル化を進めていくために取得すべき技術・知識は何かを理解し、その技術・知識取得のため取り組むことができるようになる。 3 1・2の成果から、職員が業務改善によるデジタル化のヒントを見出すことができ、施策として取り組むことができる。 4 取り組んだ経験・成果を他の職員に横展開できるようにする。

<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>第2回の支援（講演会）で助言いただいた内容に沿って担当課で実践した取組を参加者が発表し、アドバイザーに助言をいただくことで、これからの取組の進め方のヒントとする形式で実施した。参加者は、第2回の支援でアドバイザーの講演を聞いて事務改善に取り組む意識を持った職員25名。 アドバイザーの助言概要 ・課題解決には、課題を共有しチームやコミュニティで支え合うことが重要。経験や得意な分野を活かし、一人ひとりが協力し合いながら取り組むことが成功の鍵。チームビルディングやチャット、AI活用などさまざまな手法を用いて効果的に対応していくことが必要 ・上司の対応や評価によって、チームメンバーのモチベーションや行動が大きく左右される</p>	
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>・改善の意識を持った職員（ゲームチェンジャー）と継続的に意見交換を進めることで、庁内での業務改善を進めていく枠組みを形成することができた。新年度には業務改善のためのフロー検討や窓口改革のための検討組織の設置等につなげていく予定。 ・全庁的な改善への方向性を思考していくために総務部門（人事・行革）との連携が不可欠であることが明らかとなり、当日関係者も参加し、デジタル人材育成や管理職へのマインド定着等について今後検討していくこととした。</p>	
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ⑤組織業務改善ができた 当日支援準備資料、WEB画像、AIで作成した議事録のマインドマップを添付します。</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>ゲームチェンジャーの会を創設することはできたが、庁内的な位置づけができていないため、構成員が動きづらい面がある。今後庁内で組織を位置づけ活動・意見が発信しやすい環境を創設するとともに、目標の20%（400人）に到達できるように取り組む。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 おおむね好評価の結果となった（アンケート添付します）</p>	
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるもののリストより選択下さい</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある 窓口改善につながる組織作りを進める。 今年度電子申請目標の75%が完了。3月末までに残りの40申請を電子化する。</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>新たに建設される庁舎で、「市民に身近な市役所づくり」が実現され、市民の利便性が向上する。標準準拠システムへの移行により、共通化された業務により庁内業務の効率化が進む。</p>	
<p>5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 <input checked="" type="checkbox"/> 掲載許可 <input type="checkbox"/> 掲載可</p>		
<p style="text-align: center;">なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
<p>6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。</p>		
		